

おおひら

狩野川下流域に位置する沼津市立大平小学校の4年生を対象に、狩野川流域の特徴、過去最大の被害となった狩野川台風(S33.9)、狩野川放水路の効果、水害への備えについて学習する防災出前講座を実施しました。この防災出前講座の中では、「語り部」の方に狩野川台風の体験談を話していただきました。

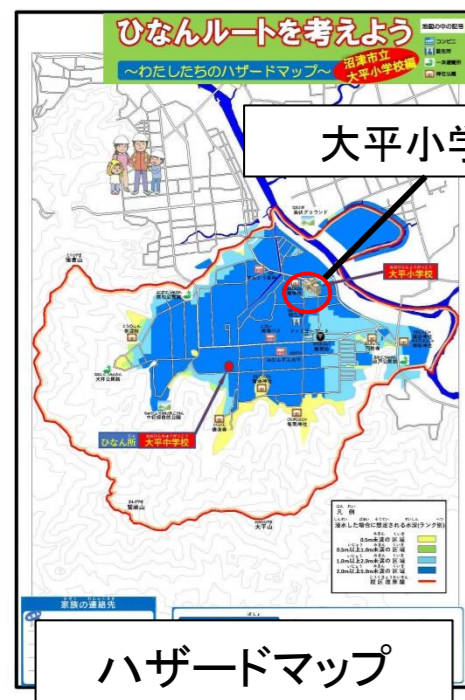
- 日時:平成29年6月26日(月) 13:45~14:30
- 場所:沼津市立大平小学校
- 参加者:小学校4年生 37名  
沼津河川国道事務所職員 3名  
語り部(狩野川資料館ボランティアガイド) 1名
- 内容:過去の<sup>おおひら</sup>大平地区の水害被害状況説明  
映像鑑賞(狩野川台風・水害への取り組み)  
「語り部」による体験談  
水害への備えについての学習  
(大平小学校版ハザードマップ、  
等身大浸水深模型、水害時の行動)



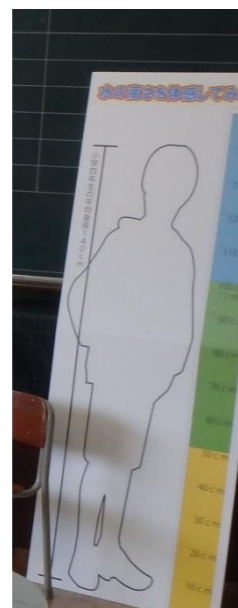
沼津河川国道事務所による  
水害に関する説明



「語り部」による  
狩野川台風の体験談



ハザードマップ



等身大浸水深模型

浸水深  
150cm  
100cm  
50cm

<p>○ 情報を確認する</p>	<p>○ 事前に準備する</p>
<p>○ 高い所へにげる</p>	<p>○ ひなんする</p>

水害時の行動

「水害への備えについての学習」  
おおひら

児童が通学している大平小学校の学区を切り出したハザードマップを活用し、自宅や学校の浸水深を調べ、等身大浸水深模型を用いて、自分の身長と浸水深を比べることで危険性を認識しました。

さらに、大雨が降った時や、水害時に自分達がとるべき行動について学習しました。